

(公財)全日本空手道連盟 感染拡大防止ガイドライン

講習会・審査会用

要項発送時の対応

```
graph TD; A[要項発送時の対応] --> B[受付時の対策]; B --> C[施設環境整備]; C --> D[感染者発生時の対応]; D --> E[その他(講習会別の対応)];
```

受付時の対策

施設環境整備

感染者発生時の対応

その他(講習会別の対応)

要項発送時の対応について(必須記載事項)

参加の見合わせ項目

- 体調がよくない場合

例:発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合

- 過去5日以内に陽性判定を受けた者との濃厚接触があった場合

感染予防のアナウンス

- マスク着用をお願いすることがある旨
※ただし、夏場はマスクを外すことを推奨する。

- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

- 他の参加者、主催スタッフ等の距離を確保すること

- 講習・審査会時は大きな声で会話をしない

- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、指示に従うこと

報告義務

- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

※報告先

講習・審査会担当者

受付時の対策について

受付方法

- 受付の列は間隔を空けるため、立ち位置の目印を設置する
- 受付前に検温し、発熱者は参加不可する
- 受付窓口はアクリル板もしくは透明ビニールカーテン等で遮蔽する
- 時間を区切って受付人数を少なくする

参加者の書面提出

- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を義務づける（参加申込時に確認）
 - ・氏名、住所、電話番号、メールアドレス等 **※取扱い注意**

その他

- 受付窓口には手指消毒剤を設置
- 手洗い、手指消毒の徹底をアナウンス
- 当日の金銭の授受禁止
- 資料は手渡しをせず、机の上に置く等努める

参加者確認事項

- ・ 氏名、住所、電話番号、メールアドレス
- ・ 平熱を超える発熱
- ・ 咳・喉の痛みなど風邪の症状
- ・ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)
- ・ 嗅覚や味覚の異常
- ・ 体が重く感じる・疲れやすい等
- ・ 過去5日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

施設環境設備について

施設全体

- 座席や利用場所の配置を工夫するなど人と人との間隔を確保する
- 参加者に対し、手洗い・手指消毒に加え、大声での会話を慎むよう適宜アナウンスする
- 複数の人が使用する場所(トイレなど)は定期的に消毒する
- アルコール消毒液を施設内に設置する
- 密閉空間とならないよう換気を十分行うこと
- マットは講習・審査会開催前に消毒すること

トイレ

- マスク、手袋着用の上、複数の参加者が触れると考えられる場所は定期的に消毒をする
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意すること
- ※布タオルについては使用しないこと

更衣室・休憩スペース

- 他の参加者と密にならないようゆとりをもたせる
- ゆとりを持たすことが難しい場合は、人数制限する等措置を講じる
- 換気扇を常に回し、換気に配慮する(定期的に窓を開ける)
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする
- ドアノブ・ロッカーの取手等、定期的に消毒する

ゴミの廃棄方法

- ・鼻水、唾液がついたごみやマスクは、燃えるゴミとは別のビニール袋に入れて密閉して縛った後、燃えるゴミに捨てる
- ・ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- ・マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
- ・手袋の外し方は十分に気をつけること
 - ①内側(清潔部分)に触れないように注意して手袋を外す
 - ②脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を外す
 - ③指定のビニール袋には距離を保って捨てる

※ゴミの取扱いについては、利用施設のルールを厳守すること

感染者発生時の対応について

事前準備

- 感染者や感染の疑いがある者が発生した場合に速やかに対応できるよう、所轄の保健所との連絡体制を整える
- 感染者の発生に備え、参加者全員の氏名・連絡先を把握するよう努める

個人情報の取扱い

- 個人情報を入手する際に必ず以下を記載すること
- 入手した個人情報は、(公財)全日本空手道連盟のプライバシーポリシーに則り、目的外の使用を一切行わず、一定期間(1ヶ月)経過後に責任を持って破棄すること

報告義務

- 感染者や感染の疑いがある者が発生した場合は、速やかに所轄の保健所に連絡する
- 感染者が発生した場合は、保健所の指示に従うこと(参加者全員に連絡する必要がある場合は実施団体から連絡する)

その他(講習会別の対応)

審判講習・審査会

- 受審者の待機スペースを確保し、密にならないよう努める
- 笛は使用せず、電子ホイッスルを使用すること
- 組手選手は、安全具の貸し借りは行わないこと
- デジタイマー等、複数の人が触れる備品は定期的に消毒すること

段位審査

- 審査員と受審者の間隔を空ける
- 受審者の待機スペースを確保し、密にならないよう努める
- 受審者は自分の番が来るまで指定の場所で待機すること
(ウォーミングアップが必要な場合は、密にならないようにする)

日本スポーツ協会公認資格

- 学科、実技ともに受審者の間隔を空けること

その他(講習会別の対応)

- ・ 開講式、閉講式は3つの密(密閉・密集・密接)の発生が想定される場合は行わない
- ・ 強度が高い運動は呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある
- ・ 講習、審査会前後の講師ミーティングは、3つの密を避け感染対策に十分配慮すること
- ・ 講習、審査会前後の食事会や懇親会は自粛すること
- ・ 受審、受講者が順守すべき事項は会場内に掲示等を行うとともに、定期的にアナウンスすること
- ・ 各自治体、使用施設のガイドラインを確認し、遵守すること
- ・ 当日提出を求めた書類は保存期間を1ヶ月とする
- ・ 講習、審査会実施時は、審査員及び受審者の熱中症予防にも努めること

本ガイドラインは、現時点で得られている知見等に基づき作成しております。今後の状況により逐次見直すことがあり得ることについて御留意ください。

参考ホームページ

【日本スポーツ協会】

スポーツイベントの開催における感染拡大予防ガイドライン令和4年12月26日改訂版
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R4_1226.pdf

スポーツイベントの開催における感染拡大予防ガイドライン（追補版）令和5年3月9日公表
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R5_0309.pdf

熱中症予防
<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html>

※開催準備時に、日本スポーツ協会発表のガイドラインも一度ご確認をお願いいたします。